

## 富山地区学校再編検討委員会第1回会議 概要

日時 令和5年11月14日（火）  
会場 富山岩井コミュニティセンター 多目的ホール  
関係者 検討委員17人、オブザーバー2人、事務局12人

## ～概要～

事務局より市内小中学校の現状や今後の推進体制等について説明し、委員長及び副委員長を選出。本検討委員会は、今後、富山中学校と富浦中学校の統合について協議・検討していくこととし、保護者説明会・地区説明会・第2回学校再編検討委員会の日程を決定した。

## ～会議内容～

## ●報告等

- (1) 地区学校再編検討委員会設置要綱について、
- (2) 南房総市内小中学校の現状と今後の推進体制について
- (3) 学校統合のメリット・デメリットについて

## 【質問】

委員 富山学園の体育祭などは、統合したら、小学部と中学部で別々になるのか。

教育長 現在の富山学園のようになれば小中合同の運動会も可能だと思うが、詳細はこれから決めていくことなので、現在の段階では具体的には決めかねる。

## 【質問】

委員 統合することで生じる、運動量・部活動面でのデメリットはないのか。

教育長 運動量は、心配の声もあったので、休み時間や放課後など、運動する時間を確保するように努めている。部活動面では、デメリットはないと考えている。

## ●委員長・副委員長選出

委員長は戸倉勝美氏、副委員長は川名修氏に決定。

## ●議事

- (1) 学校再編に係わる協議・検討事項について

富山中と富浦中の統合について協議・検討し、富山・富浦の検討委員会の双方で統合するとの結論が出たら、合同での協議・検討に進む。異議なし。

## 【質問】

委員 千葉県全域で、小規模学校は再編する方向に進んでいるのか。

教育長 児童生徒数が減少している県南や東海岸では再編が進んでいるように思う。

## 【質問】

委員 人数が更に急減した場合、途中で他地区が再編に加わる可能性はあるのか。

教育長 一番近い三芳中については、10年スパンくらいでの統合は考えにくいと判断している。

**【質問】**

委員 統合するかどうかは、この委員会だけの多数決等で決定されてしまうのか。また、富浦中が富山学園に来てくれればよいが、中学部と小学部をばらしてまで統合するメリットがあるのか。その議論は、いつするのか。

教育長 決定ではなく、方向性を確認することになる。統合するという方向性が両地区の検討委員会で確認されたら、合同会議を立ち上げる。委員さんが心配されていることも、その中で協議されていく。どうしても話し合いがつかなければ、統合ということにはならないと考えている。

**【意見】**

委員 比較的新しい富山学園を捨てて富浦に行くこと、富山と富浦の中間に新たな学校を建てることは考えられない。富浦が富山に来ることになるのでは。

教育長 学校の位置は今後合同会議で決めるので、その際に再度御意見ください。

**【質問】**

委員 資料4について、複数の学級を編成するメリットに並行してデメリットを記載しなかった理由は。

教育長 統合が生徒に負の影響を与えないよう努めている。また、記載内容はあくまでも我々の考えなので、協議内で懸念事項が生じれば解消に努める所存。

**【質問】**

委員 この会議では、どこまでを決めたいのか。統合するか決めるのか。

教育長 今日、富浦中学校と統合するという方向性を決めるのは困難だと考えている。保護者・地区の方の意見を踏まえて、第2回再編検討委員会を開き、それ以降の会議で再編するかどうかの結論を出していただきたい。

**【意見】**

委員 人数が減る中、どういう学校を望むのかをPTAの方にお聞きしたい。

委員 統合の話をした時には仕方ないという意見の方が大半だった。子どもが置き去りにされていると感じるので、子どもにアンケートを取るのはどうか。また、小学校含めた統合は検討されないのか。

教育長 先週の富浦地区再編検討委員会では小学校の話は出ておらず、我々も小学校との統合ということは想定していない。ただ、この後の合同会議でそういう話が出れば対応する。アンケートの件は、小さい子もいるので、子どもたちの意見は親が受け、保護者の説明会等で発言してもらおうのが一番良いと思う。

(2) 保護者説明会及び地区説明会について

事務局案のとおり、保護者説明会は令和5年12月21日（木）、地区説明会は令和6年1月25日（木）の開催で異議なし。

(3) 検討委員会第2回会議の日程について

令和6年2月22日（木）に開催予定で異議なし。

## 富山地区学校再編に関わる保護者説明会 概要

日時 令和5年12月21日（木）

会場 富山中学校体育館

関係者 参加者56人、検討委員17人、オブザーバー2人、事務局13人

### ～概要～

事務局より、富山地区の中学校の現状、富山地区の中学校再編について説明し、参加者からの質問に回答した。保護者の参加者は再編に対し肯定的な意見が多く、今後のスケジュール、再編後の中学校の位置や再編のあり方などについての質問・意見が主だった。詳細については今後協議・検討していくと説明。

### ～説明会内容～

#### ●説明

- (1) 富山地区の中学校の現状について
- (2) 富山地区の中学校再編について

#### ●質疑・意見交換

##### 【質問】

保護者 教育的な観点から、教育をするうえで適正な人数はどのくらいか。また、合併しても数年後にはまた生徒数が減少するが、先を見た合併を考えたかどうか。市内に限らず、他市等との合併は考えられないのか。

教育長 適正人数の具体的な研究はされていないが、南房総市は、学年単学級の規模はできるだけ解消したいという考えを持っている。今回、富浦中と富山中の統合を考えたのは、生徒に通学時の負担をかけない範囲での統合ができるからで、今後は、生徒数と通学の負担を勘案しながら、対応を考える時期が来ることになると思う。近隣の市が現在教育にかかる経費を考えると、合併後に南房総市が教育にかけている経費を同じように出すのが難しいため、市を越えた学校を作るのは難しい。

##### 【質問】

保護者 数年後には統合を考える時期がもう一度来るとのことだが、そこがもうすぐ目の前に来ているのではないかと。今後、どこかで統合しなければいけない時期が来るという話にも聞こえたのだが。

教育長 統合しなくてはいけない時期が来るということではなく、統合をするかどうかの判断をする時期が来ると考えている。富山地区はこれから生徒数がさらに減ってくるのが想定されるが、この人数の少ない中で富山中の教育をするという結論が出れば、我々はそれを受け止めていく。

**【質問】**

保護者 学校の位置は決まっていないとのことだが、既存の建物を使うのか、また新たに別に中学校を建てるのは決まっているのか。また、今の時点でのスケジュール感は何かあるのか。

教育長 学校の位置は、合同会議の中で、通学時間、その他いろいろな条件を検討しながら提案していく。スケジュール感は、統合した中学校としてスタートするには、早くても3年くらいかかるという見通しでいる。

**【質問】**

保護者 中学校のみ統合ということで、中学校で子どもがいきなり初対面の子と接するが、子どもたちの負担、気持ちは汲んでもらえるのか。

教育長 小学校の段階から双方の児童が交流する機会を設ける考え。

**【質問】**

保護者 安房郡市全体で、県立中高一貫校を作っていく考えはあるのか。

教育長 生徒数が少なくなっている中で、なかなか前向きには考えてもらえないのが現状。ただ、高校と市町との連携を強めていこうと話し合いを詰めているので、中高一貫校にはならないが、小中学校の教育の考え方も十分踏まえて、高校も指導にあたって欲しいと協議を進めているところ。

**【質問】**

保護者 今回参加されなかった方の意見を聞く機会はあるのか。

教育長 再編検討委員会から要望があれば、再度説明会を開催する。また、子どもを通じて、今回不参加だった方に配布資料等を配ることは可能。

## 富山地区学校再編に関わる地区説明会 概要

日時 令和6年1月25日（木）

会場 富山中学校体育館

関係者 参加者12人、検討委員16人、オブザーバー2人、事務局11人

### ～概要～

事務局より、富山地区の中学校の現状についてや富山地区の中学校再編についてを説明し、参加者からの質問に回答した。参加者から「誰のための統合なのか慎重に検討していただきたい」等の意見があったが、今後も子どもの将来を考え、どのような学校生活を送ることが子どものために大切か、保護者や地域の方々と慎重に協議・検討しながら進めていきたいと説明した。

### ～説明会内容～

#### ●説明

- (1) 富山地区の中学校の現状について
- (2) 富山地区の中学校再編について
- (3) 保護者説明会の概要について

#### ●質疑・意見交換

##### 【意見】

参加者 統合に反対。①富浦中学校・富山中学校の生徒全員を対象にアンケートを行うこと、②アンケート後、再度、住民説明会を開催すること、③時間をかけて慎重に検討し、子どもと住民の合意を得て進めること、の3つを要望する。

教育長 我々としては、大人の責任で子どもたちの教育環境を考えようという方針で進めているので、今いただいた意見は、再編検討委員会で検討・議論されるものだと考えている。

##### 【質問】

参加者 この資料は昨日の富浦の説明会と同じものか。学校がなくなるということについて、もっと考えてもらいたい。子どもの通学にかかる負担を考えてないのではないか。子どもの意見を一人一人聞いてもらいたい。統合すると教師が多くなるというが、それは違うのではないか。私は、統合しなくてもいいと考えている。

教育長 資料については、資料4のQ&A以外は同じ。富山地区は、平群小学校と岩井小学校の統合について議論してきたし、スクールバスについても、子どもを通して様々な知見を持っている。それらを踏まえて、今回我々の提案した富浦中学校と富山中学校の再編についても議論いただいて、方向性を出していただきたい。

**【質問】**

参加者 資料に記載されている質問は少ないが、実際はもっと質問が出ていたのか。女性からの質問はなかったのか。

教育長 12月21日の富山地区の保護者説明会では、ここに記載したものがほとんどで、ここに記載しなかったものはない。女性からの質問はなかった。

**【質問】**

参加者 次の説明会はいつになるのか。

教育長 12月の保護者説明会、本日の地区説明会を踏まえて、2月中に再編検討委員会を開きたいと考えている。

**【質問】**

参加者 統合ありきで考えているのか。

教育長 統合するかどうかの結論については、両地区の再編検討委員会で協議した中で決まってくる。

**【質問】**

参加者 学校の位置が、富浦・富山のどちらになるのかは分からないのか。

教育長 両地区で再編が合意された後、学校の位置等について改めて提案する。

**【意見】**

参加者 人口が減っていく中、統合のメリット・デメリットがあるとは思いますが、いい方法を見つけて、子どもたちにとって一番いい環境で学んでもらって、この町に愛着をもってもらいたい。何でもかんでもコスト削減・統合ということではなく、大人の責任として、将来に極力負担の無いよう、考えていかないといけないと考えている。

教育長 教員の配置を考えても、子どもの数が一定程度あって、学級数が多い方が配置される教員も多く、教科指導等にも余裕が出てくるという現実があるので、これらを踏まえて、検討委員の方には議論を進めてもらいたい。

## 富山地区学校再編検討委員会第2回会議 概要

日時 令和6年2月22日（木）

会場 富山岩井コミュニティセンター 多目的ホール

関係者 検討委員17人、オブザーバー2人、事務局13人

### ～概要～

事務局より、説明会の概要、会議の中で出た意見・要望等に対する対応を説明。富山地区の中学校再編案を市が提案し、再編案のとおり、富山中学校と富浦中学校を統合させる方向性で進めることに決定。

### ～会議内容～

#### ●報告等

(1) 保護者説明会・地区説明会の概要について

#### ●議事

(1) 意見対応について

① 説明会に参加されなかった保護者や地域の方々への周知方法について

話し合いの結果、資料3とQ&Aの形式のものを富山地区全戸に回覧し、保護者にも同様のものを配布、会議録についてはホームページに掲載することに決定。

② 富浦中学校・富山中学校の生徒全員を対象にしたアンケートについて

各家庭で話し合いが行われており、子ども達の考えや希望を反映した形で、大人の責任をもって様々な事柄を判断していると認識している。また、学校再編は、再編の時期、再編後の学校の位置、名称を市議会にて議決いただく、政治的、社会的、教育的な判断を要するもの。これらについて、子ども達に判断をさせることは、大変な負担であるため、これまでと同様に、アンケートの実施は行わない。

#### 【質問】

委員 どういうアンケートなのかが決まってないのに、実施しないと決めていいのか。子どもたちの考えをある程度把握するくらいの調査はあってもいいのではないか。

教育長 例えば中学生にアンケートをとった場合には、長くても3年間の中学校生活をもとに判断していかざるを得ないので、先々を見たときに子どもたちにとって最適な教育環境はどういうものかを大人が議論して決めていくほうがよいと考えている。

#### 【質問】

委員 8人しかいないPTA役員が全家庭の代弁をするのは難しいので、保護者宛にアンケートをとり、各家庭で話をして、回答を集約することも一つの策ではないか。

教育長 過去に教育委員会としてはアンケートはやっていないが、PTAが保護者宛にアンケートを実施して、PTAとしての方向性を決めてきた例はある。また、PTAの主催で保護者会を実施し、話し合った上で検討委員会に臨んだ例もあるので、そのような方法がよいのではないかと。

③ 説明会質疑の回答方針について

説明会での質疑について、会議資料としての周知のみではなく、個別に回答してほしいとの意見があったが、広く市民に周知したいと考えているため、希望者に個別対応をするのではなく、市のホームページを確認してもらうことで異議なし。

④ 三芳地区の学校再編について

富浦地区の地区説明会の中で、三芳地区の令和17年度までの生徒児童数の推移を確認したいとの意見があったため、資料を添付。

【質問】

委員 富浦地区が、富山地区ではなく三芳地区との再編を望んだ場合は、教育委員会としては、それをどう対応するのか。

教育長 まず前提として、今の富浦地区の会議の中で、富山地区との再編をしないで三芳と統合するというような雰囲気はないと判断している。富浦地区が三芳地区と統合すると結論が出たら、我々はそれを尊重しなければならない立場であるため、対応については富山地区の方々と検討していくことになる。

【意見】

委員 三芳の話が出たが、私は事務局案に賛成。三芳の生徒数は減少が見られないし、三芳地区の統合相手を考えると富山・富浦だけでなく嶺南も十分考えられると思うので。

- 協議の結果、富山中と富浦中の両校を統合させる方向で進めることに決定。

(2) 今後の日程等について

令和6年4月になったら、事務局から各所属へ検討委員の推薦依頼を行い、その後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行う。手続きが完了次第、正副委員長と相談をして、令和6年度の1回目の会議日程を決定し、委員の皆様や関係者の皆様には後日、手紙にて案内をする。

●その他

事務局より、報償費の支払い、令和6年度学校再編検討委員への引き継ぎについて説明。

## 富山地区学校再編検討委員会第3回会議 概要

日時 令和6年6月10日（月）  
会場 富山岩井コミュニティセンター 多目的ホール  
関係者 検討委員16人、オブザーバー2人、事務局10人

### ～概要～

学校再編検討委員会の体制の説明、生徒数・児童数の推移状況、富山地区のこれまでの検討状況について確認。今後について、富浦地区では継続審議となっている状況を説明し、富浦地区の結論が出てから次回の会議を開催することとなった。

### ～会議内容～

#### ●報告等

- (1) 富山地区学校再編検討委員会の推進体制について  
委員会の体制、進め方のイメージについて説明。
- (2) 富山地区の中学校の現状について  
生徒数・学級数・教員数の推移見込みについて説明。
- (3) 富山地区学校再編検討委員会の検討状況について  
これまでの会議・説明会での検討状況について説明。

#### ●議事

- (1) 次回会議の日程について
  - ・ 第2回会議で報告した、「三芳地区だけ置き去りにされている」、「取り残されてしまう」などの意見を受け、三芳地区のPTA役員と事務局で意見交換会を実施し、その際に出た意見・質問等を紹介。
  - ・ 事務局から、三芳地区は旧町村単位で行っていた再編計画時から目標に到達していたこと、児童・生徒数の推移を提示しながら、もう少し子どもたちの数の推移を見守ってから判断した方が良いと考えていることを説明。三芳地区のPTAからは、取り残されてしまう等の意見はなく、子どもの数が減少してから再度検討してほしいとの意見が出た。
  - ・ 次回の第4回会議は、富浦地区学校再編検討員会で再編についての結論が出てから開催することとし、日程は正副委員長と相談の上、決定することで異議なし。

#### ●その他

事務局より、報償費の支払い、本日の会議録について説明。

## 富山地区学校再編検討委員会第4回会議 概要

日時 令和7年3月6日(木)  
会場 富山岩井コミュニティセンター 多目的ホール  
関係者 検討委員16人、オブザーバー2人、事務局11人

### ～概要～

富浦地区では引き続き継続審議となったため、その検討状況を説明。富山地区では方向性についての結論が出ており、変更がないことを確認。引き続き、富浦地区の結論を待つこととなっている。

### ～会議内容～

#### ●報告等

(1) 富浦地区学校再編検討委員会の検討状況について

- ・ 富浦地区・富山地区それぞれの検討委員会の会議開催状況を説明。
- ・ 富山：第2回会議で富山中と富浦中を統合させる方向性で行くと結論が出た。
- ・ 富浦：富浦と富山以外の他の地区を含めた統合も視野に入れつつ、継続審議。

#### 【質問】

委員 第2回会議で、富山中学校と富浦中学校を統合させる方向性で行くとの結論となったときの経過について概要を説明してほしい。

教育長 意見を出してもらい、統合させるという方向で異議ないかと確認した上で、異議なしということで委員長さんが意見をまとめたと思う。

#### 【質問】

委員 第2回会議の際、富山中学校と富浦中学校を統合させる方向性で行くとの結論となったと、言い切った感じの話ではなかった気がする。

教育長 統合するという結論は求めている。合同会議で最終的な結論を出すため、富山地区としては、富浦中との統合という方向で今後協議していくという方向性をいただいたと思っている。

#### 【質問】

委員 南房総市として、学区域の引き直しはできないのか。

教育長 旧町村を越えての統合ということで、和田・丸山の中学校が一つに統合している。また、現在、富浦地区と富山地区で中学校の統合を進めたらどうかという提案をしており、白浜小学校と千倉小学校の再編も同時に進めている。これは委員さんがおっしゃった旧町の枠を越えての統合というものと同じような形であると思う。

#### 【質問】

委員 この委員会が長引けば長引くほど、富浦の出方によっては、統合という話自体がなくなってしまう可能性もあるのか。

教育長 統合ありきでいるだろうということを言われる恐れもあるが、我々とすれば、現在見通せる中では、富浦と富山が統合し、一つの学校を形成していくのが一番だと考え、これからも取り組んでいきたいと思っている。

●議事

(1) 今後の日程等について

令和7年4月になったら、事務局から各所属へ検討委員の推薦依頼を行う。委員の推薦をいただいた後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行い、完了次第、正副委員長に令和7年度の1回目の会議日程を決定してもらう。委員・関係者には、後日文書にて案内をする。異議なし。